# 島田療育センターニュース

第292号
2021年12月1日

## センターニュースをお読みの皆様へ

島田療育センター（多摩市）は創立 60 周年、島田療育センターはちおうじ（八王子市）は 10 周年になります。島田療育センターでは病棟の建替え整備事業が基本設計段階に入り、粛々と計画を進めています。島田療育センターはちおうじでは、市内在住の 12 歳以上の障害者の方で、集団接種会場での接種が困難な利用者様を対象に、新型コロナウイルスワクチンの個別接種を八王子市と協力して実施しました。当センター内での接種は慣れた場所ということもあってか、利用者の皆さんは落ち着いて接種され、「接種できるとは思っていませんでした」と保護者からとても喜ばれました。11 月 13 日には 10 周年記念式典も無事開催することができました。節目の年度を契機に、今後もさらに努力していきます。

島田療育センター経営企画室長
島田療育センターはちおうじ副所長
鮎澤　浩一

## 還暦・古希のお祝いを実施しました

今年度、第６病棟では還暦の方２名、古希の方１名のお祝いをしました。人生の節目を迎えられた利用者様を病棟全員でお祝いしようと、会場の飾りつけや輪飾り、コサージュを準備し、お祝いの歌は音楽クラブの皆さんがプレゼントしてくれました。
お祝いの利用者様は、少し緊張されている様子でしたが、会場の温かい雰囲気で緊張も解け、リラックスして参加することができました。ご家族にも喜んで頂き、職員として利用者様の人生の節目を一緒にお祝いできる喜びを感じ、またご家族の思いを改めて教えていただく時間になりました。

最後に、今回還暦・古希を迎えられた皆様、第 6 病棟はすでに白寿までお祝いをする準備ができています。これからも末永くよろしくお願いします！

（療育主任　美保 弘輔）

今年度の還暦・古希のお祝いは、感染予防に配慮して昨年度と同様に病棟毎のお祝いになりました。第 7 病棟の対象の利用者様は 2 名。ご家族はご兄弟を含めて 3 名の方をお招きすることができました。コロナ禍で面会が制限される中、久しぶりにご家族と面会された様子を目にすることができ、少しほっとしております。職員手作りの装飾が施された会場で半年前から構想を練ってきたスライドショーが始まると、その場にいた誰もが心温まる想いでした。

重症心身障害者の黎明期といわれた時代から、我が子のため・島田療育センターのため・社会福祉のためにとご尽力されてきたご家族の言葉は、障害者支援に対する感謝と共に私たち職員へのエールとして心に響きました。

（療育主任　清水 信夫）

# 秋の行事

９～11月に行われた行事の様子を各担当者よりお知らせいたします。　　　　　（編集委員　岩井 理）

## デイケアセンター 秋祭り

９月 17 日にデイケア幼児部秋祭りを開催しました。ワニワニパニックなどのゲームや太鼓に触れ、いつもと違う雰囲気を楽しみました。終わる頃にはおもちゃと楽しい思い出を両手いっぱいに握りしめお祭りを満喫していました。

## 第１病棟 大遠足

10月29日に第１班・11月1日に第2班の大遠足を行ないました。「縁日」をテーマに、“的当て”“魚釣り”“太鼓ゲーム”“オリジナルバッチ”“ワニワニパニック”の5つのコーナーを作りました。会場では縁日の映像とお祭りの音楽が流れ、賑やかな縁日の雰囲気を楽しむことができました。

## 第２病棟 大遠足

第1班は10月20日、第2班は11月10日に実施しました。今年は「eスポーツ大会」をチーム戦で楽しみました。簡単なリモコン操作でキャラクターを動かして得点を競いました。魚釣りゲームでは、大きな魚を釣り上げるたびに大歓声がわきあがりました。どのチームも団結して真剣そのものでした。マリオやルイージと記念写真を撮るコーナーもあり楽しいゲーム大会となりました。

## 第３病棟 大遠足

10月5日に「小さな動物園とバスの旅」をテーマに行いました。午前中は、裏山に上がり、いつも遠くから見ているヤギさんを間近で見ることができました。午後は、バスドライブで多摩動物公園周辺に出かけたり、動物の<チケット>を使った製作を行なったりして、一日動物園へのお出掛け気分を楽しみました。

## 第５病棟 大遠足

10月25日にプロジェクタとパソコン・センサーを組み合わせた【オミ・ヴィスタ】というスヌーズレン機器を使って楽しみました。床に映ったニワトリの映像に触れると卵が産まれ、まるで本当のニワトリに触れたかのような変化にみなさん夢中になっていました！

## 第６病棟 大遠足

10月14日に「秋」をテーマに大遠足を行ないました。午前中は「フォトフレーム作り」で芸術の秋を楽しみ、午後は「芋掘りリレーやボッチャ」に挑戦、スポーツの秋で盛り上がりました。最後はもちろん食欲の秋。おやつとして島田特製の「秋パフェ」を味わいました。3つの秋を満喫した一日でした。

## 第７病棟 大遠足

10月27日に大遠足を実施しました。雨が上がり陽射しが心地良く感じるひとときでした。今回の大遠足のテーマは「かぐや姫」。厚生棟内に竹林と和室を設え、演劇をとりまぜながら利用者様とゲームを楽しめる時間を企画しました。和装に変身した職員も雰囲気作りに一役買い、趣向を凝らしたイベントになりました。

第19回　島田療育センター

## 公開シンポジウム 開催のご案内

### 小児期発症神経難病における生活支援の現状と課題 ～ほんとうのことを話したい～

　とどまることを知らないコロナ渦にあって誰もが生活様式の変容のみでなく、考え方や感じ方まで何かに強いられるように足場を失いつつあるようです。ここは簡単な解決策を提示するより、錯綜した困難さの実態を共有し、何が起こっているのか、何が必要かを現場からよってたかって提示することをまずおこなってみるのも悪くないかと考えました。今回のシンポジウムではこの困難な中でその言葉に触れることが、誰かの光になるであろうと思われる3人に講演をお願いしました。

| | |
|---|---|
| 講師 | 熊谷 晋一郎　氏<br>（東京大学先端科学技術センター準教授/小児科医）<br>冨田 直　氏（都立小児総合医療センター在宅診療科部長、神経内科・総合診療科/医師）<br>大泉 えり　氏（高度医療ケアラー、在宅おふろ研究家） |
| 開催日時 | 2022年2月11日（金・祝）　13:00-17:00 |
| 開催方法 | オンライン　Zoomウェビナー |
| 申込方法 | 島田療育センターホームページより |
| 料金 | 無料 |
| 定員 | 450名 |
| 問合せ | 島田療育センター支援部<br>（電話　042-374-2101） |

第16回

## 心理講演会 開催のご案内

### 読み書きにつまずきがある子どもたちに家庭や学校でできること　～合理的配慮と支援～

　特に、就学前後から学童期には、読み書きについて様々な悩み事が出てくることがあります。これらの背景には、眼球運動や視覚認知などのものを見る力（視覚機能）が関係していることがあります。一人一人に合った配慮や支援を実践していくことで、子どもたちが本来の力を発揮していけるよう、私たち周囲の大人ができることは何か、ご講演いただきます。

| | |
|---|---|
| 講師 | 築田 明教 氏<br>ビジョンセラピスト、かわばた眼科視覚発達支援センター　センター長 |
| 開催日時 | 2022年2月19日（土）　10:00-12:00 |
| 開催方法 | オンライン Zoomウェビナー |
| 申込方法 | 島田療育センターホームページより<br>2022年2月18日締め切り<br>（講師への質問は1月5日締め切り） |
| 料金 | 無料 |
| 定員 | 500名 |
| 問合せ | 島田療育センター支援部<br>（電話　042-374-2101） |

お子様の発達について、こんなご心配はありませんか？
このコーナーはネットワークしまだで連載していた、親御さんからの発達についてのご質問やお悩みに対して専門職が対応方法をご説明するコーナーです。
バックナンバーは島田療育センターのホームページでもご覧いただけます。

**Q**

「幼稚園はどうだった？」と聞いても、なかなか返事が返ってきません

**A**

「幼稚園はどうだった？」という質問は、過去の出来事に関する質問のため難しい場合があります。まずは目の前の出来事について、やりとりをしてみましょう。遊んでいる場面を写真に撮って、後で一緒に見ながら話します。「何を作ったの？」「楽しかった？」「上手だね」。写真があれば、お子さんも思い出しやすくなります。聞き方にもひと工夫。「どうだった？」ではなく、「すべり台で遊んだ？」などyes/noで答えられる質問や、「すべり台で遊んだの？それともブロック？」と選択肢から選んでもらうと答えやすくなります。
「すべり台で遊んだの？ブロックで遊んだの？」「ブロック！」「何を作ったの？」「車！」「車は何色？」「赤！」「上手にできた？」「うん！」…。最後に「ブロックで赤い車を作ったんだね。楽しかったんだね」と、お子さんのことばをつなげて返してあげましょう。お子さんも、パパやママに伝わった楽しさを感じてくれると思いますよ。

（言語聴覚士　池上　陽子）

利用者様の居住スペース

## 季節の彩り

お月見シーズンには、病棟のあちらこちらにいろいろな<お月見ウサギ>が登場しました。

## 院内感染対策研修を開催しました

10月25日～11月30日まで第２回院内感染対策委員会の全体研修がオンラインで開催されています。東京都看護協会が作成した障害者支援施設等の新型コロナウイルス感染防止対策研修動画を使用して『感染予防の留意点と生活の留意点』についての研修でした。今回は全体研修初の試みとして課題レポートもオンラインからの回答となりました。

（院内感染対策委員　中野 智子）

## 島田療育センターが各メディアで紹介されました

今年は色々な方面で島田療育センターが紹介される事となりました。7月には「働く動物たち」というテーマで島田療育センターの敷地を除草しているヤギがWEBで紹介されました。その記事を見た毎日新聞の記者が『今年パラリンピックがあり、頑張る障害者がクローズアップされました。こちらが「動」であるならば、「静」である日々の暮らしをテーマに書きたい』とおっしゃって取材があり9月28日夕刊に掲載されました。その記事を見たNHKのディレクターより取材依頼があり、10月21日「首都圏ネットワーク」で放送されました。

きっかけはヤギから始まりましたが、コロナで生活に制限が掛かりながらもヤギに癒され、楽しみを職員と一緒に見つけながら暮らしている利用者様をテーマに取り上げていただいたことで、重症心身障害児・者への理解と私達の事業への理解が広まればと願っています。　　　　（事務部部長　森久保 真由美）

人気者のヤギたち

メディアで紹介された様子をみんなで視聴

## 地域療育等支援事業のご案内

### ①外来療育等支援事業（療育相談）

当センターにて障害、発達に関するご相談に応じます。

### ②施設支援一般指導事業

発達のご心配や障害のある方を受け入れている地域施設、機関職員の方を対象にご相談に応じます。

### ③訪問療育等支援事業（訪問相談）

地域施設や家庭へ赴いて健康診査や介護指導などを行います。

窓口支援部　TEL 042-374-2101（直通）
費用は 無料です。お気軽にお問い合わせください。

## shot! ひとこと

今年はいつになく気候が不安定で東京は晴れ間が少ない夏で、ようやく青空が続くようになったと思ったら季節は秋に変わっていました。今年最初に見つけた島田の秋はススキで、日差しを浴びて黄金色に輝いているのが病棟の窓から見えてとても綺麗でした。11/23 前後にはイチョウも黄葉のピークを迎えそうです。

発行者　社会福祉法人 日本心身障害児協会 島田療育センター
〒206-0036　東京都多摩市中沢1-31-1
TEL　042（374）2071　（代表）
URL　https://www.shimada-ryoiku.or.jp/tama/
スマホの方はこちらから　島田療育センター　ブログ ぽっけ　フェイスブック